

ベトナム・タイ経済交流ミッションの主な内容

11月13日（月）

①在ホーチミン日本国総領事訪問

在ホーチミン日本国総領事から、ベトナムの政治経済情勢や投資環境等についてブリーフィングを受け、本県への誘客促進や食の販路拡大における三重県とベトナムとの連携等について意見交換を行います。

②ホーチミン市人民委員会委員長訪問

ホーチミン市の行政部門のトップであるホーチミン市人民委員会委員長を訪問し、県内企業の投資・ビジネス拡大に向けた相互協力や今後の交流促進等について意見交換を行います。

③ホーチミン日本商工会等との交流会への出席

ホーチミン日本商工会及びホーチミン三重県人会との夕食交流会を開催し、現地関係者とのネットワークの構築や三重県のPRを行います。

※ホーチミン日本商工会の会員数は、824社。

※ホーチミン三重県人会の会員数は、11社。

11月14日（火）

④ベトナム旅行会社等との意見交換

現地旅行会社数社の幹部、独立行政法人 国際観光振興機構（JNTO）等の出席を得て、本県の観光資源の魅力について紹介したうえで、三重県の誘客の方向性等について意見交換会を実施します。

経済の発展に伴い、団体旅行を中心としたベトナムからの訪日旅行が増加している現状を踏まえ、今回の意見交換会で現地旅行会社の立場からの忌憚のない考えを聞き、ベトナム旅行会社との関係強化につなげます。

⑤イオンモール タンフーセラドンでの三重県フェア開催記念セレモニーへの出席

平成26年1月にオープンしたイオンベトナム1号店の「イオンモール タンフーセラドン」を訪問し、現地のメディアや来店客に対して、三重県フェアの開催記念セレモニーでのPRを行います。

※三重県フェア開催期間 平成29年11月13日（月）～11月19日（日）

⑥コンテナターミナル運営事業者（サイゴン・ニューポート・コーポレーション）訪問

ホーチミン港で最大のコンテナターミナルを運営し、ベトナム全体のコンテナ取扱量の約半分を取り扱う、サイゴン・ニューポート・コーポレーションを四日市港利用促進協議会の訪問団とともに訪問して同社幹部と面談し、四日市港のPRを行うとともに、今後の四日市港とベトナムとの貿易拡大等に向け、意見交換を行います。

⑦四日市港セミナーへの出席

四日市港利用促進協議会がホテルニッコーサイゴンで開催する「四日市港セミナー」に同協議会名誉会長であり、四日市港管理組合管理者でもある三重県知事として出席し、プレゼンテーションを行うとともに、ベトナムの現地貿易関連企業や船会社などに対し四日市港の利用促進に関するトップセールスを行います。

11月15日（水）

⑧三重県観光セミナー・商談会への出席

三重県観光セミナー及び現地旅行会社と県内観光事業者との商談会をクラウンプラザバンコクで開催し、三重県を目的地にしたツアー造成を図ります。

昨今、タイでは訪日旅行のリピーター増加に伴い、大都市以外の地方への訪問意欲も高まりつつあります。このことから、三重県観光セミナー・商談会の実施により、当県ならではの観光資源やタイ人の嗜好にあわせた四季の景観や食等の魅力を紹介し、加えて県内事業者と現地旅行会社が直接商談を行う機会を提供することでオール三重県でその魅力をPRします。

⑨タイ政府関係機関訪問

経済政策を統括するソムキット副首相やチャチャイ農業・協同組合担当大臣等と面談し、県内企業の投資・ビジネス拡大に向けた相互協力や今後の交流促進、県産農林水産物の輸出等について意見交換を行います。詳細は調整中です。

⑩三重県 PR セミナー及び交流会への出席

三重県の魅力（産業、食、観光等）を伝える PR セミナーをバンコック銀行の取引先を会員とする親睦組織「バンコク・クラブ」の会員を対象に、同組織の会員専用施設「バンコク・クラブ」を利用して開催します。

平成 25 年 1 月に産業振興等に関する包括協定を締結した信金中央金庫及び県内信用金庫と連携した新たな取組として、信金中央金庫の業務提携先であるタイ最大の商業銀行バンコック銀行のネットワークを活用して実施します。

バンコク・クラブで PR イベントを開催するのは、日本の自治体として初めてとなります。

11月16日（木）

⑪タイ旅行会社（トランザ・グループ）へのトップセールス

トランザ・グループは、タイからの訪日旅行を取り扱う有力エージェントの一つであり、平成 26 年 9 月に「三重県海外観光特使」を委嘱しました。

今回のトップセールスではトランザ・グループ経営幹部と面談し、三重県の季節ごとの多様な観光資源や食などの強み・魅力を生かして、タイから本県へ四季を通して誘客を図るための具体的な方策について意見交換を行います。

特に、個人旅行者の割合が増加しているタイ市場の状況をふまえて、レンタカーを活用した商品造成及び送客促進について働きかけを行います。

⑫フードイノポリス（食品産業研究開発イノベーションハブ）訪問

タイ・サイエンスパーク内にタイ政府科学技術省が開設している食品産業研究開発イノベーションハブ「フードイノポリス」を訪問し、同拠点内にヤマモリ株式会社が開設する予定の研究施設を視察するとともに、平成 26 年 11 月に本県と産業連携に関する覚書を締結し来年で 5 周年を迎えるタイ投資委員会（BOI）と、科学技術省等のタイ政府関係者と意見交換を行い、タイ政府の産業政策に関する理解を深め、県内企業のタイへのさらなる展開につなげます。

タイ政府は産業の高度化を図るため、東部経済回廊（EEC※）へのインフラ投資や高付加価値型分野への投資に注力しており、フードイノポリスはこの一環として開設されたものです。

※東部経済回廊（EEC：the Eastern Economic Corridor）

タイ湾東部のチャチュンサオ、チョンブリー、ラヨーンの 3 県を指し、同エリアへの投資を奨励するため、一定期間の法人税免除などタイ政府が恩恵を与えている。

⑬日タイの地方レベルでの産学官連携に関するシンポジウムへの出席

平成 20 年に三重大学と大学間協定を締結しているタマサート大学と連携し、タイ政府関係者、現地企業関係者、日本に関する研究を行っているタイ人学生等を対象に、日タイの産学官連携に関するシンポジウムをタマサート大学ランシットキャンパスで開催し、今後の本県とタイとの産学官連携による産業・企業間連携及び日本へのタイ人留学経験者の現地進出県内企業での人材活用などにつなげます。

⑭タイ最大級ビアホール運営会社へのトップセールス

タイ最大級のビアホールを運営するタワнден・ジャーマン・ブルワリー社を訪問し、県産品の販路開拓に向けたトップセールスを行います。

同社は、バンコク近郊で 1000 席、1500 席、2000 席規模のビアホールを 3 店舗経営しています。同社は、これまで三重県農林水産物・食品輸出促進協議会がタイ現地アドバイザーとともに開拓して発掘した有力販路の一つであり、日本の自治体がトップセールスを行うのは初めてとなります。

※タイ現地アドバイザーとは、タイにおける県産品の販路拡大を目指すため、三重県農林水産物・食品輸出促進協議会が株式会社 Elephant Planning に委託し、タイ現地バイヤーとのマッチングや商談支援を実施しているものです。